

PTA 図書貸し出し

2月18日(水)

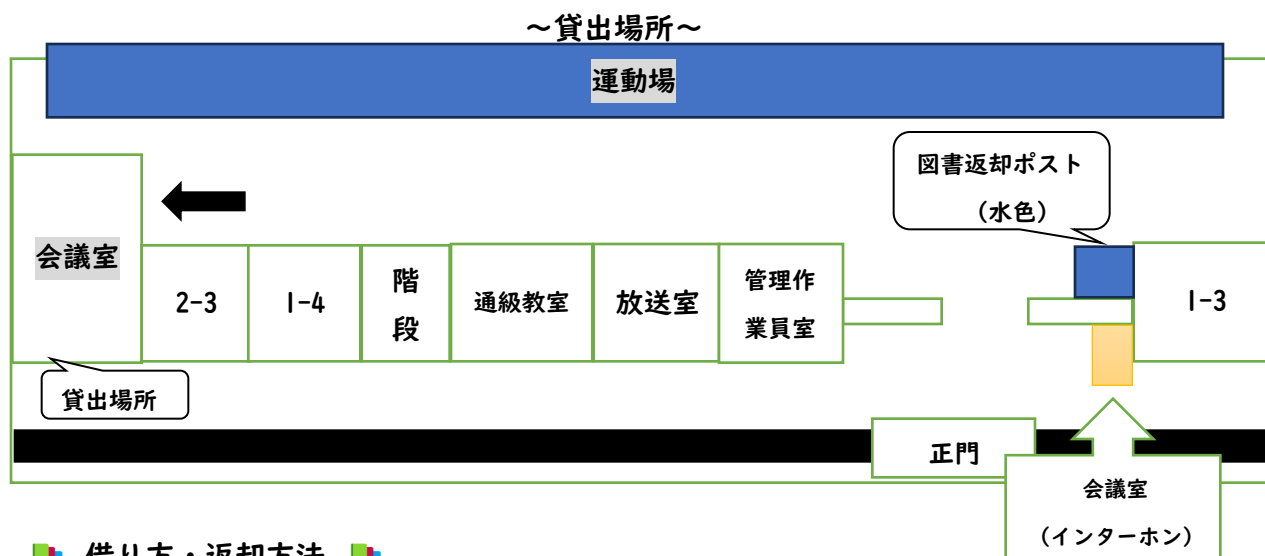
午前10時00分～午前11時30分

場所： 1F 会議室 (下の図を参照)

日頃より、本校 PTA 活動にご協力いただきましてありがとうございます。

さて、本年度第5回目の開放日が決まりました。今年度最後の貸し出しとなっております。

【お願い】来校の際は、正門の会議室（インターホン）を鳴らして下さい。委員が解錠をしますので、会議室へお越し下さい。



借り方・返却方法

- ①貸出カードに、「書名・借りる方の氏名・お子様のクラスと名前・連絡先」を記入する
- ②貸出カードを委員に渡す
- ③しおり（返却日が記入されている）をはさむ
- ④返却は正面玄関に設置している水色「図書返却ポスト」に入れるか次回の貸出日に持参する

【水色ポストへの返却にあたってのお願い】

ポストに入れる際、本を直接入れず袋に入れて返却頂けると助かります。忘れた方は、横にある袋に入れて上を結んで返却して下さい。ポストの入口の幅もありますので、何個かに分けて頂いて構いません。図書の本を大切に取り扱いたいと思っていますので、ご協力お願いします。

※新しい本は各1冊となり、先着順となることをご了承下さい。特に新しい本は貸出希望が多い為、借りた方は次回の貸出日までに返却をお願いします。

★返却日★

3月11日を予定しております。決定次第、ミマモルメ配信と正門東側掲示板にてお知らせします。

新しい本が入りました

しっぽのカルテ



村山由佳（著）～集英社～
 動物たちと獣医師、そして飼い主が織りなす、涙と温もりに満ちた物語。
 小さいのちの痛みや喜びに寄り添いながら、“生きる”ことの意味を静かに問いかける。迷いながらも懸命に日々と向き合う人々と動物たちの姿に、読者の心もそっとほどけていく。
 胸に響く動物病院ドラマ。

パズルと天気



伊坂幸太郎（著）～PHP 研究所～
 緻密な仕掛けと軽快な会話が心地よい、伊坂ワールド全開の短編集。
 思いもよらぬ伏線が天気のようにふと回収され、読み終えた後に静かな余韻が残る。人の関係も人生も、パズルのピースのように意外な場所ではまる瞬間がある。
 ユーモアと温度差が絶妙に重なる、洒落な短編集。

メゾン美甘食堂



水生大海（著）～ポプラ社～
 心に少し疲れや空腹を抱えた人たちが、そっと集まる不思議な食堂。
 一皿の料理に添えられた優しさと秘密が、訪れた人の人生を静かにほどいていく。
 食卓に灯る温度と香りが、読む者の記憶と重なり、思わず“また来なくなる”。
 癒しと再生がテーマの、やさしい物語。

暁星



湊かなえ（著）～双葉社～
 フィクションとノンフィクションが交錯し、現実の影が物語を鋭く照らす。
 “星を守る”という願いに潜む希望と絶望が、読む者の心を揺らし続ける。視点が変わるたび、同じ事象が全く異なる輪郭を見せる構造が見事。湊かなえならではの緊張感と切実さが滲む、深い余韻の一冊。

成瀬は都を駆け抜ける



宮島未奈（著）～新潮社～
 “まっすぐ生きる”ことの清々しさと面倒くささが同居した、青春×現代感の痛快小説。突き抜けたこだわりと行動力が、周囲の大人たちの空気まで少しずつ変えていく。
 笑いながら読んでいるうちに、気づけば背中を押されている自分にハッとさせられる。爽快で愛おしい、成瀬ワールド開幕。

国宝 下 花道篇



吉田修一（著）～朝日文庫～
 芸のために生きることの誇りと孤独、そして時代の移り変わりが織りなす物語。舞台に立つ者の覚悟と美しさ、その裏にある痛みや嫉妬が鮮やかに描かれる。
 芸事の世界に息づく伝統が、現代と響き合いながら新たな意味を帯びていく。
 名と技を懸けた生のドラマに、胸を熱くさせられる作品。

すべてを蒸したいせいろレシピ おかわり



りょ子（著）～主婦と生活社～
 素材の旨みをぎゅっと閉じ込め、驚くほど手軽に“ごちそう”になるせいろ料理の魅力を紹介。野菜も肉も魚も、蒸すだけで彩りが立ち上がり、食卓に新しい発見が広がる。コンビニ食材からおやつまで対応できる応用力が嬉しい。
 健康にも時短にもやさしい、日々の献立の強い味方。

つかめ 理科ダマン3 科学でナゾを解き明かせ！編



シン・テワン（作）／ナ・スンウン（絵）
 ～朝日新聞出版～
 科学のナゾを笑いとともに解き明かす、楽しい学習まんがシリーズ。
 読み進めるうちに“なるほど！”が増え、理科がぐっと身近に。
 自由研究にも日常の疑問にも役立つ、科学への入口。